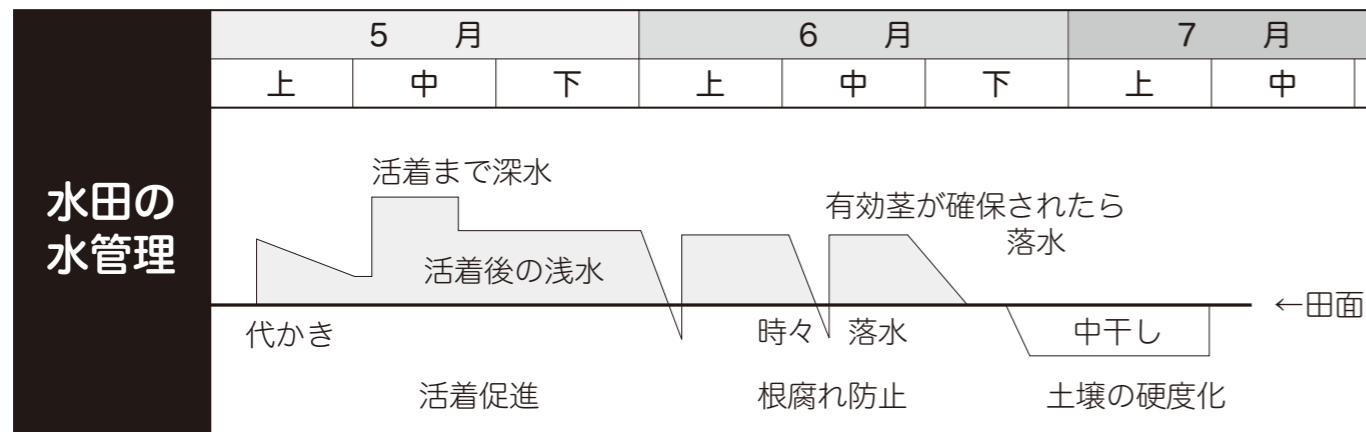


## 田植後の水管理を徹底して初期生育の確保を!! ＜水田除草剤は田植後早めに適期散布しましょう。＞

管内の田植は連休後半より本格的に始まりましたが、例年になく天候に恵まれ作業も順調と思われ  
ます。向こう1か月の天候については、平年に比べて晴れの日が多い見込ですが、数日の周期で天候は  
変わりますので、田植後の水管理は万全に行いましょう。

また、水田除草剤については、散布時期が遅れると効果が劣りますので、田面が見えないように水位  
を保ち、かけ流しにならないように注意しましょう。

### 《水管理の目安》



※雑草の生育も早いので、除草剤を散布するタイミングが遅れないように!!

### ◎田植後の水管理について (5月中旬～下旬頃)

#### ①田植直後の管理と活着の促進

- 田植後の1～2日は、植え傷みを少なくする為にやや深水にしましょう。(葉先が2～3cm出る程度)
- その後は水温・地温が最も高く保てるようにやや浅水(約2～3cm)を保ちましょう。

#### ②活着後～分けつ始期の管理

- 低温が続くような場合は、5～6cmのやや深水管理とすること。(強風等も同様です。)
- 天候が良い場合は、浅水管理として水温・地温の上昇をはかり、分けつを促進しましょう。
- 表層はく離(藻類等の発生)が多い水田は除草剤の拡散や水温・地温の上昇に影響しますので下記薬剤を散布して下さい。(モグトン粒剤→10a当り 2～3kg 表層はく離、藻類発生時に散布)
- 入水は、早朝又は夜間に行い、日中は水田内の水を動かさないで水温を高める様に努めて下さい。

※田植えを完了して補植用に苗を置いてある圃場については、病害虫の発生要因となりますので  
早めに処分するようにして下さい。

### ◎効果の高い上手な除草剤の使い方

水管理

5cm以上  
処理時の水深

落水、かけ流しはダメ

7日間  
止水!!  
水尻をしっかりと止める

パック剤・豆つぶ剤

ぬれた手で扱わないでください。

葉や浮草の多発時は散布しないでください。

パックが固まっている場合は、手で軽くもみほぐしてから投げ入れてください。

※強風の時は散布を避けましょう。

初・中期一発剤	環境保全米栽培	ボデーガード(2成分)		1キロ粒剤	移植直後～ノビエ3葉期
				ジャンボ	移植後5日～ノビエ2.5葉期
		フロアブル	移植後5日～ノビエ3葉期		
JA米慣行栽培	アピロトップMX(4成分剤)	1キロ粒剤75	移植直後～ノビエ3葉期		
		ジャンボ	移植後3日～ノビエ3葉期		
		1キロ粒剤	移植直後～ノビエ2.5葉期		
		ジャンボ			
フロアブル					
		クサトリーDXジャンボH		移植後3日～ノビエ2.5葉期	
		コメットジャンボ		移植後5日～ノビエ2.5葉期	

※昨年、クログワイ・ホタルイ等が多発した圃場は中期剤との体系処理を実施しましょう。

### 水田周辺(畔畔や農道等)への除草剤散布は飛散に要注意を!!

水田周辺へ除草剤を散布する際は、薬剤の飛散(ドリフト)を避ける為、風のある日は散布を行わないようにして下さい。  
また、散布ノズルは全て「飛散防止対応ノズル」で散布を行いましょう。



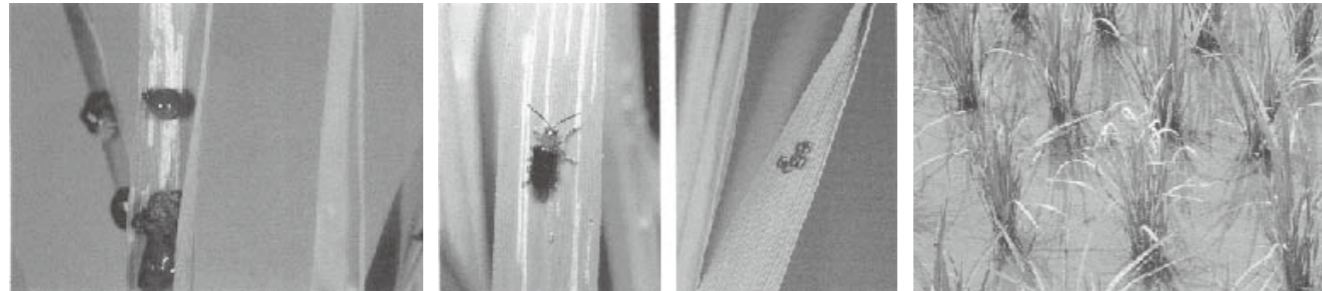
## ◎水田に雑草が残った場合は、早めに中期除草剤で体系処理を!!

散布時期の遅れや抵抗性雑草の多発等により水田に雑草が残っている場合は、稲の生育に影響を及ぼしますので早めに追加防除を実施しましょう。

薬 剤 名	10a当り使用量	主 な 対 象 雑 草
アクシズMX1キロ粒剤	1kg	移植後7日～ノビエ4葉期 オモダカ、クログワイ、ホタルイ、シズイ等。
オシオキMX1キロ粒剤	1kg	移植後14日～ノビエ4葉期 オモダカ、クログワイ、ホタルイ等全般。
バサグラン粒剤 (落水して散布)	3～4kg	移植後15～50日 ホタルイ・シズイ・オモダカ等(草丈は10～15cm以下) 落水散布後は少なくとも3日間は入水しないでそのままの状態に保つこと。(ノビエには効果ありません。)
クリンチャーバスME液剤 (落水して散布)	1,000ml (水70-100ℓ)	移植後15日～ノビエ5葉期(広葉雑草5～15cm以下) 落水した状態で雑草に噴霧機等で直接散布し3日以上は入水しないこと。

※雑草の草丈が伸びてくると除草効果も劣りますので、適期散布に努めましょう!

## ◎水稲直播栽培は、殺虫剤、葉いもち病の防除を忘れずに!!



被害状況 成虫(体長約5mm) 食痕 卵(約0.8mm) 幼虫(体長約5mm)

薬剤名	使用量(10a)	防除基準	散布適期	使用回数
トレボン粒剤	2～3kg	収穫21日前まで	6月上旬～6月中旬頃 (害虫の発生前に散布)	3回以内
なげこみトレボン	4～6個 (200～300ml)	収穫21日前まで	移植後20日以降～ (害虫の発生前に散布)	3回以内
トレボン粉剤DL	3～4kg	収穫 7日前まで	イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ 発生初期	3回以内

※粒剤・パック剤等の予防散布は、6月上旬～中旬頃に、ダラダラ発生する場合は粉剤で防除しましょう。

水稲直播栽培は「葉いもち病」の防除を必ず実施しましょう!! (6月中旬頃)  
また、箱処理剤を施用してない水田も6月中旬に必ず散布して下さい。

薬 剤 名	薬 剤 の 散 布 量
オリゼメート1キロ粒剤	10アール当り 1～1.3kg
オリゼメートパック (投込み)	10アール当り 1～1.3kg(小包装20～26個)

※コラトップ剤であれば7月上旬頃に散布(穂いもち病予防)

## 水稲育苗ハウスの後作に野菜等を栽培する場合は注意して下さい!!

### ⚠ 水稲箱処理剤の有効成分は長期残効性があります。

水稲育苗ハウス内で箱処理剤を散布した時に、育苗箱から薬剤が地面にこぼれた場合、後作の野菜等へ影響(残留)する恐れがあります。

地面にビニール等を敷いていると思いますが、箱処理剤が残っている場合は地面にこぼさないように注意することで後作への影響を防止することになります。



### 水稲用中期除草剤

# オシオキ MX1キロ粒剤

有効成分: アジムスルフロン …… 0.18%  
ピリフタリド …… 1.8%  
メソトリオン …… 1.0%  
人畜毒性: 普通物※  
※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、  
特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

- 特長**
- 移植後14日から使用できる中期除草剤です。
  - 4葉期のヒエに対しても効果を発揮します(一部地域は除きます)。
  - 多年生のカヤツリグサ科雑草や難防除雑草に高い効果を発揮します。
  - SU抵抗性を獲得した雑草(ホタルイ、アゼナ、コナギ等)に対しても効果を発揮します。

### 適用雑草および使用方法

(2014年4月23日付拡大登録内容を含む)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ クログワイ(北海道を除く) オモダカ、ヒルムシロ コウキヤガラ(関東・東山・東海、 近畿・中国・四国、九州) シズイ(東北)	移植後14日～ ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで	砂壤土～埴土	1kg	1回※	湿水散布 又は 無人ヘリコプター による散布	東北、関東・東山・東海、 近畿・中国・四国の 普通期及び早期栽培地帯

※各有効成分を含む農薬の総使用回数: アジムスルフロン…1回、ピリフタリド…2回以内、メソトリオン…2回以内

## ◎けい酸加里の中間追肥の施用(基肥で減肥している水田等へ効果あり。)

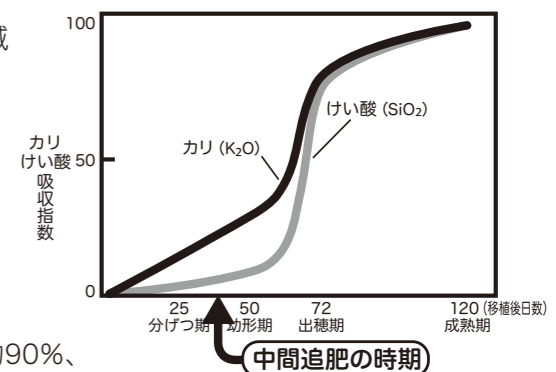
加里は、デンプンをモミの内部へ送り込むのに不可欠な成分で、加里が多いと登熟が良くなること  
が期待されますので施用をご検討下さい。

### けい酸加里の効果

- 根張りが良くなります。
- タンパク割合が低下し食味が向上します。
- 稈を強くし倒伏に強くなります。
- 乳白粒発生を軽減
- 粒厚、登熟歩合が向上。
- 放射性セシウム吸収低減

### 使用量

中間追肥の場合 施用量 … 20～40kg/10a  
施用時期 … 出穂45～35日前  
(6月中旬～6月末頃まで散布)



## けい酸とカリは生育後半に多く吸収されます

けい酸とカリは特に生育後半に多く必要とされ、全吸収量のうちけい酸は約90%、  
カリは約70%が幼形成期以降に吸収されます。